

第9回 獨協大学図書館講演会

文学と装丁の楽しい関係

— 装丁と装画の醍醐味 —

出版文化として独自に発展してきた装丁装画の仕事を紹介しながら
日本の美しい書物史をひもときます。

日時

2025年11月12日(水) 15:30～17:00

場所

※下記に変更します

獨協大学 天野貞祐記念館2階207教室(A-207) (定員300名)

対象

在学生・教職員・一般の方

事前申込は不要です。直接会場にお越しください。



講師：小林真理 (美術ジャーナリスト)



【プロフィール】

京都芸術大学客員教授。日本図書設計家協会前会長。日本文藝家協会正会員。
アートディレクター、画家、美術ジャーナリスト。

「画家の装幀」「うるしのうつわ」などのテーマで新聞連載や執筆、講演活動を続けている。

主な著書、編書に

『和のうつわ』(平凡社)、『芹沢銈介・装幀の仕事』(里文出版)、

『能面の見かた』『漆芸の見かた』『画家のブックデザイン』(誠文堂新光社)、

『陶芸の美』(芸術新聞社)、『柚木沙弥郎・美しい本の仕事』(PIE International)など
日本の手仕事を紹介する本が多数ある。

【問合せ】獨協大学図書館

TEL:048-946-1780 <https://www.dokkyo.ac.jp/library/>